



ヒッグス粒子探索研究の最近の進展について 市民向け講演会を開催

大阪市立大学の理学研究科では、2012年7月30日（月）に学術情報総合センター1階文化交流室にて、「ヒッグス粒子探索研究の最近の進展について」の市民向け（高校生も含む）講演会を開催します。

さる7月4日に、ヨーロッパ原子核研究機構（CERN）が、巨大加速器 Large Hadron Collider（LHC）を用いた実験により、ヒッグス粒子である可能性が高い新粒子を発見したと発表し、メディア等でも世界的に大きく取り上げられました。このヒッグス粒子は、物体に質量を与える働きを持っており、大阪市立大学特別栄誉教授の南部陽一郎先生の「対称性の自発的破れ」というアイデアがもとになっています。「対称性の自発的破れ」は、単に質量を説明するためのものではなく、宇宙の起源や歴史、あるいは未来をも左右するかもしれない重要な内容を含んでいます。

本講演では、今回のこの大きなニュースを受けて、ヒッグス粒子とは何か、なぜそのような粒子が存在するのか、宇宙との関係は何か、どのように探索するのか、そもそもなぜそんなに重要なのか等のさまざまな疑問に対してできるだけわかりやすくお答えします。多数の方々のご参加をお待ちしています。

記

- 日時 平成24年7月30日（月）16時～17時
- 場所 大阪市立大学 学術情報総合センター1階文化交流室
（JR 阪和線「杉本町（大阪市立大学前）」駅東口下車 徒歩5分）
- 定員 100名
- 参加申込 不要（事前申し込み不要）参加費無料
- 講師 清矢 良浩（せいや よしひろ）（大阪市立大学大学院理学研究科数物系専攻教授）

【講師プロフィール】

専門は、高エネルギー物理学（素粒子物理学実験）、物理学会会員。
2011年9月にデータ収集を終了したアメリカ国立フェルミ加速器研究所のテバトロン加速器を用いた国際協力実験CDFに参加しトップクォークの探索と発見、ヒッグス粒子の探索研究など素粒子物理学の様々な内容の実験的研究に取り組んでいる。2006年からは、日本のニュートリノ実験（T2K実験）にも参加。

以上

【内容に関するお問い合わせ先】

大阪市立大学大学院理学研究科数物系専攻
教授 清矢 良浩
TEL：06-6605-2646 / FAX：06-6605-2522

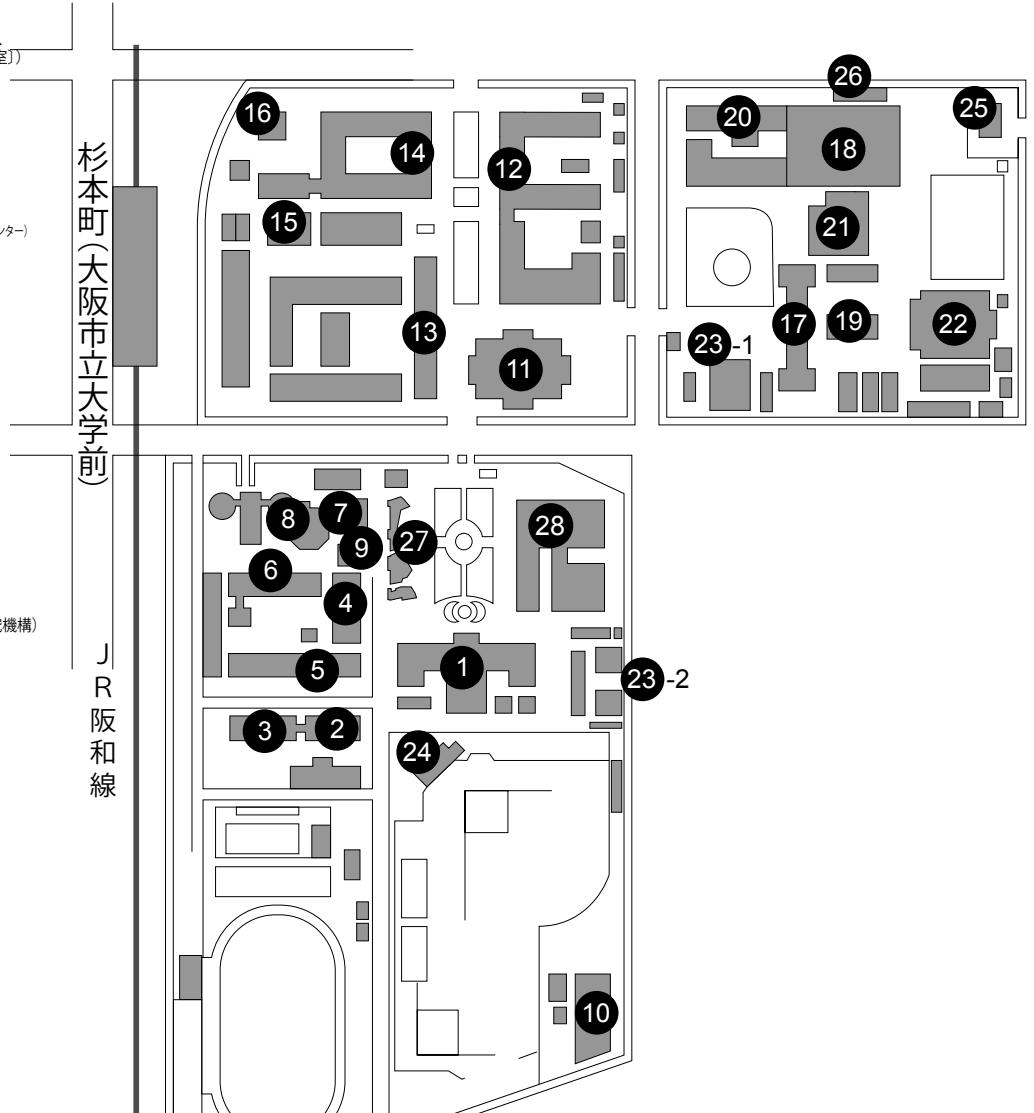
【報道に関するお問い合わせ先】

大阪市立大学 広報室 小澤・坂部
TEL：06-6605-3570/FAX：06-6605-3572

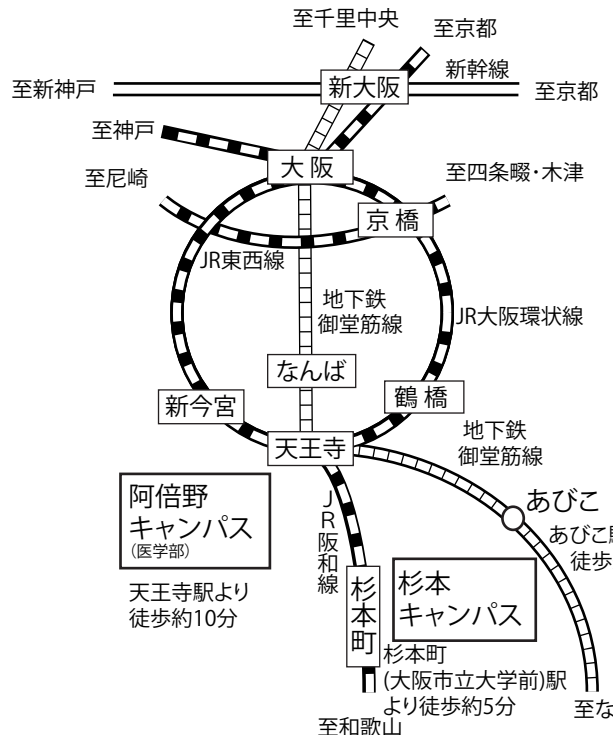
■ 杉本キャンパス

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138
 JR「杉本町(大阪市立大学前)駅」下車、東へ徒歩約5分
 地下鉄御堂筋線「あびこ駅」下車、4号出口より南西へ徒歩約20分

- ① 1号館(新産業創生研究センター、事務局(職員課、経営管理課、学務企画課、研究支援課、第2部事務室))
- ② 商学部棟
- ③ 経済学部棟
- ④ 法学部棟
- ⑤ 文学部棟
- ⑥ 経済研究所棟(創造都市研究科、人権問題研究センター、証券研究センター)
- ⑦ 都市研究プラザ
- ⑧ 田中記念館
- ⑨ 保健管理センター
- ⑩ 河海工学実験場
- ⑪ 学術情報総合センター(大学史資料室、事務局「総務課、学術情報総合センター運営課」)
- ⑫ 理学部棟
- ⑬ 工学部棟
- ⑭ 生活科学部棟
- ⑮ 工作技術センター
- ⑯ 児童・家族相談所
- ⑰ 2号館(都市健康・スポーツ研究センター、複合先端研究機構)
- ⑱ 全学共通教育棟(事務局(学生支援課))
- ⑲ 4号館
- ⑳ 基礎教育実験棟
- ㉑ 第1体育館
- ㉒ 第2体育館
- ㉓₁ 第1学生ホール
- ㉓₂ 第2学生ホール
- ㉔ 硬式野球場スタンド
- ㉕ ゲストハウス
- ㉖ インキュベータ
- ㉗ 高原記念館
- ㉘ 学生サポートセンター



■ 交通案内図



■ 阿倍野キャンパス

〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3
 JR・地下鉄「天王寺駅」、近鉄「大阪阿部野橋駅」より西へ徒歩約10分

- ① 医学部学舎
- ② 附属病院
- ③ 医学部南館
- ④ 医学情報センター(6F)
- ⑤ 医療研修センター(7~9F)
- ⑥ 学術情報総合センター 医学分館(8~9F)
- ⑦ 医学部看護学科学舎

